

平成 26 年産 紀南の梅産地情報

2014/03/18

1. 南高の開花は、1月末から2月にかけては気温が上がり、満開は2月11～12日と平年に比べ4・5日早くなった。



現在、山間部では満開期を少し過ぎたところで、これから落弁期を迎える。

早場地域では、第一次生理落果が始まっている。

(平地標準調査地 田辺市中三栖)

品種 \ 年	平年 (H16~25)	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	
小梅	開花始め	2/8~10	2/8~10	2/23~24	2/2~3	2/1~2
	満開期	2/16~18	2/20~22	3/1~3	2/7~8	2/10~11
	開花終期	2/25~27	3/4~7	3/7~9	2/26~27	2/27~3/1
	開花期間	20日	28日	16日	26日	29日
古城	開花始め	2/15~17	2/21~23	2/27~28	2/7~8	2/11~12
	満開期	2/23~25	2/28~3/1	3/3~4	2/17~18	2/22~23
	開花終期	3/5~7	3/11~13	3/12~13	3/9~10	3/5~6
	開花期間	20日	21日	16日	32日	24日
南高	開花始め	2/7~9	2/8~10	2/23~24	2/2~3	2/3~4
	満開期	2/15~18	2/20~22	2/29~3/2	2/6~7	2/11~12
	開花終期	2/25~27	3/4~7	3/6~8	2/26~27	2/27~28
	開花期間	19日	28日	15日	26日	26日
作柄		低温、長雨、生育遅れ 平年作	開花期間短い 低温、降雨 不作	早場平年並み 遅場着果過多 豊作		

2. 1月21日の着蕾調査によると、1年枝100節当たり着蕾数は、南高は前年・平年に比べ多く、古城・小梅では、前年・平年並みであった。

基準園の着蕾数 (1年枝100節当たりの平均着蕾数)

品種 \ 年	平成 26 年	平成 25 年	平年	前年比	平年比
小梅	94.0	97.3	91.1	97%	103%
古城	91.4	91.1	88.6	100%	103%
南高	66.6	58.8	57.8	113%	115%

3. 今年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。